

令和8年度 第1回 大阪市立木津学校 学校協議会 実施報告書

校 名 大阪市立木津中学校
校長名 林 剛 史

日 時		令和8年5月21日（木）19：00～19：45（45分）
場 所		木津中学校 校長室
出席者 （敬称略）	委員	寺 田 守 氏（浪速区地域振興会会長） 位 上 剛 史 氏（令和5年度 P T A会長） 香 田 絵里子 氏（令和4年度 P T A役員） 岡 村 辰 純 氏（令和5年度 P T A役員） 武 田 久 子 氏（学校元気アップ地域コーディネーター）
	学校	林 剛史（校長）、岩井 康典（教頭）
	区役所	市民協働課 教育・学習支援担当課長 濱田 俊通 氏 市民協働課 教育・学習支援担当 富坂 義典 氏 市民協働課 教育・学習支援担当 庵 信之 氏
	傍聴	なし
	議題	① 「令和8年度 運営に関する計画」について ② 学校の現状について ③ 意見交換・情報交換 ④ 連絡事項 他
協議 要旨	協議の結果・意見の概要	
	※校長から、①②の内容についてパワーポイントを用いてまとめて説明。 ① 令和8年度 運営に関する計画について（詳細は運営の計画を参照） （1）安全・安心な教育の推進について ・概ね昨年度と同様に進める計画であることを説明 （2）未来を切り拓く学力・体力の向上について ・現状と今後の課題を説明 （3）学びを支える教育環境の充実について ・昨年度と同様、1．2年生において1学級を2学級展開している。少人数授業と別に、ティームティーチングも行っており、生徒・保護者からの評判も良い。 ② 学校の現状について ・携帯電話の持ち込みのルールについて 1年生にはまだ浸透しておらず、保護者に理解を求めているところである。 ・生徒用個人端末の使用は進んでいるが、休み時間にも使っており、一方で図書室の利用が減っている。図書館の活性化を司書教諭と連携して取り組む必要がある。 ・卒業生の進路に関して、1名の就職希望者を除き、他全員の進学決定となった。 ・学力に課題があり、不登校生徒も一定数いる。不登校生徒の支援に関しては区役所の子育て支援や要保護児童対策協議会の支援には助けられている。今後も連携して生徒たちと向き合う。 ・外国籍の生徒が今年も多い。（22％程度）外国籍生徒との意思疎通が課題である。仲間で集まり小集団を作り、日本語の習得速度が落ちてしまう。『日本語指導が必要な子どもの教育センター校』としての強みを活かして新たな仕掛けを考える。 ・PBL 型授業に取り組んできたが、今年は新たな取り組みにチャレンジし、主体的・対話的でより深い学びをめざす。	

	③ 意見交換・情報交換 〈修学旅行の行き先について〉 沖縄から関東方面になった。小規模校が沖縄に行くためには時間帯を選ばず、集合時間が極端に早い時間になり、前日に学校付近に宿をとらなければならない教員が出てくる。また、解散時間も遅くなり、保護者の方々に迎えに来てもらわないといけなくなる。そのため今年度は関東方面に行き、ディズニーランドにも行った。ただし、ディズニーランドも費用が掛かるため継続していけるかどうかは疑問である。 〈学力課題について〉 学力には課題が残る。英語は全国平均に負けていないが、少人数授業が功を奏しており、外国籍生徒も平均値を上げてくれている。 〈体力の課題について〉 過去には大阪市平均を上回っていたこともあったが、小規模校ゆえ一人が突出した成績を出すと平均を押し上げることもあるが、その反対もある。運動する機会が減っている今では平均を上げることは簡単ではない。 〈昨今のトクリュウに巻き込まれる少年犯罪について〉 ほとんどの生徒がスマホを持つ今、高校生から犯罪に巻き込まれている事実がある。昨年度はスクールロイヤーを招いて、闇バイトについての授業を3年生を対象に行ったが、しっかり聞いてくれていた。最近の子どもはテレビを見ないが、ニュースも見て、犯罪に巻き込まれないように自衛してほしい。
協議資料	・次第 ・「令和8年度 運営に関する計画」
備考	傍聴者[0]名